

第1回西広島バイパス都心部延伸事業整備効果検討会 検討結果（地元状況）



本事業の円滑な推進に当っては、地元行政のみならず、地元経済界や沿道地域など、地域全体の理解・協力が不可欠であるが、

- **地元行政及び地元経済界による官民一体となった各種取組**
- **広島市議会における早期供用を求める決議**
- **沿道の地域団体からの早期全線開通を求める要望書の提出**

など、事業の早期再開への期待は地元の総意であり、地域全体の大きなうねりとして一層高まっている。

一方、沿道の地域団体から「工事期間における周辺地域への安全対策等の計画策定や、着工前における地域住民に対する説明などについて配慮願いたい」旨の声が寄せられているほか、一部には事業効果や必要性等についての疑念・疑問の声も寄せられていることから、引き続き、広島市が主体となり、沿道地域への情報提供や要望対応等を確実かつ丁寧に実施し、事業に対する理解を求めるなど、地元をしっかりとめていく必要がある。

第1回西広島バイパス都心部延伸事業整備効果検討会 検討結果（事業の必要性・効果）



本事業は、広島市と周辺23市町が連携した『200万人広島都市圏構想』の実現に向けた取組や『都市再生緊急整備地域』の指定による広島市都心部の活性化などを支える、広島広域都市圏はもとより中国地方の発展にとっても極めて重要な事業であることから、本事業を実施する今日的意義は極めて高い。

また、直接的な整備効果のほか、地域経済の発展等に寄与する様々なストック効果の発現も併せて期待される。